



## 2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年11月14日

上場会社名 マルシェ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7524 URL <https://www.marche.co.jp>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長 （氏名） 加藤 洋嗣  
 問合せ先責任者（役職名） 管理部長 （氏名） 上田 慶太 TEL 06-6624-8100  
 半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

### 1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	2,398	6.5	△3	—	△8	—	△6	—
2025年3月期中間期	2,252	△3.1	△10	—	△13	—	△15	—

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 錢	円 錢
2026年3月期中間期	△2.02	—
2025年3月期中間期	△3.41	—

（注）潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり中間純損失であるため記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2026年3月期中間期	2,984		736		24.7	
2025年3月期	3,426		410		12.0	

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 736百万円 2025年3月期 410百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 錢 —	円 錢 0.00	円 錢 —	円 錢 0.00	円 錢 0.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	—	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

### 3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 錢
通期	5,200	13.5	70	56.8	63	92.4	43	23.0	2.47

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2026年3月期中間期	10,550,400株	2025年3月期	8,550,400株
2026年3月期中間期	522,163株	2025年3月期	522,163株
2026年3月期中間期	9,197,636株	2025年3月期中間期	8,028,270株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る 1 株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

(A種種類株式)

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	—	—	80,000.00	80,000.00
2026年3月期	—	—	—		
2026年3月期(予想)			—	80,000.00	80,000.00

(注) 上記の A 種種類株式の発行数は290株であります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
3. 補足情報	7
〔参考〕業態別出退店の状況	7

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当中間会計期間における我が国経済は、企業収益雇用環境の改善により緩やかな回復基調で推移する一方、海外情勢等に起因した物価上昇等もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、個人消費やインバウンド消費は増加の傾向にあるものの、原材料価格・光熱費の上昇や人手不足の影響等により、引き続き厳しい状況が続いております。

このような環境の中、当社は当期、株式会社テンポスホールディングスを引き受け先とした増資を行い、資金の増強と同社より取締役2名の経営関与を決定し、中期経営計画の早期達成を目指しております。そして、当期の重点課題は以下の3つであり、以下に記載いたします。

#### ①「業態変更の促進」

低投資改装と改装効果が出ている「ハッケン酒場」への業態変更を加速しております。

上期は10店舗の業態変更及び改装を行い、特に郊外2等立地の加盟店の変更を4店舗実施いたしました。客観的な効果率としましては、売上高は前年対比120%程度の上昇が初期では確保できており、お客様の構成比では新規顧客が50%程度、既存顧客が50%程度、また20代～30代の客層が50%以上お越しいただき、当初の想定通り推移しております。下期においても、さらに加盟店の業態変更を5店舗以上予定しており、既存店の活性化を促進しております。

#### ②「新規出店の促進」

前期出店いたしました「やきとりええねん」「ハッケン酒場」を中心にZ世代を中心とした若い層のお客様をターゲット層として出店を進めております。店内仕込みの焼き鳥及びリーズナブルなドリンク設定価格、楽しさあふれるインパクト営業がお客様に一定の支持を得ております。当期は、5店舗の新規出店を予定しており、当中間会計期間においては、「やきとりええねん西本町店(大阪府)」「やきとりええねん心斎橋ヨーロッパ通り店(大阪府)」「ハッケン酒場岡山錦町店(岡山県)」「餃子食堂マルケン阪急茨木市駅南口店(大阪府)」の4店舗を新規出店いたしました。

#### ③「店舗活性化の促進」

当期は、全社スローガン「1割アップ」を掲げ、ドリンクのおかわり促進を徹底しております。当中間会計期間は、既存店売上高前年対比104.5%で推移しておりますが、この取り組みを通じて店舗スタッフの気遣い、心配りが向上し、その結果、業績向上に繋がっている店舗が増えてまいりました。今後も、顧客満足度の向上に繋がるよう促進してまいります。

また、当期は外国人社員10名の雇用を行うなど、次年度の出店に向けた人材採用と教育を図っております。日本人、外国人がお互いに寛容性を持ち、切磋琢磨し店舗活性化と業績向上に努めてまいります。

このような取り組みを行った結果、当中間会計期間における経営成績は、売上高は2,398,873千円（前年同期比6.5%増）、営業損失は3,440千円（前年同期は営業損失10,422千円）、経常損失は8,658千円（前年同期は経常損失13,759千円）、中間純損失は6,958千円（前年同期は中間純損失15,745千円）となりました。

#### 【当中間会計期間の業績の概況】

	前中間期 自 2024年4月1日 至 2024年9月30日	当中間期 自 2025年4月1日 至 2025年9月30日	対前年同期比	
			増減額	増減率（%）
売上高（百万円）	2,252	2,398	146	6.5
営業損失（△）（百万円）	△10	△3	6	—
経常損失（△）（百万円）	△13	△8	5	—
中間純損失（△）（百万円）	△15	△6	8	—
1株当たり中間純損失（△）	△3円41銭	△2円02銭	1円39銭	—

## （2）財政状態に関する説明

### 資産、負債及び純資産の状況

資産、負債、純資産及び自己資本比率の状況は下記の通りとなります。

（単位：百万円）

	2025年3月期末	当中間期末	増減
資 産	3,426	2,984	△442
負 債	3,016	2,247	△769
純 資 産	410	736	326
自己資本比率 (%)	12.0	24.7	12.7

当中間会計期間末におきましては、主に現金及び預金545,904千円の減少、売掛金30,968千円の減少、建物及び構築物（純額）73,691千円の増加等により、総資産が前事業年度末に比べ442,855千円減少し、2,984,077千円となりました。

負債は、主に買掛金28,977千円の減少、借入金返済による短期借入金622,160千円の減少、長期借入金77,770千円の減少等により、前事業年度末に比べ769,042千円減少し、2,247,806千円となりました。

純資産は、主に資本剰余金354,000千円の増加、配当金の支払23,200千円等により326,186千円増加し、736,270千円となりました。

## （3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

当上期は、出店計画の一部に遅れが生じたことに加え、新規出店に伴う初期費用のみが先行して発生したため、利益面では想定を下回る結果となりました。

一方で、下期においては上期に出店した店舗の本格稼働や新規出店・改装効果により、初期費用の負担なく収益向上に寄与する見通しです。

また、経費削減を徹底的に行うことにより、収益改善を図ってまいります。

これらを総合的に勘案し、2026年3月期の業績予想につきましては、2025年5月12日に公表しました予想を据え置いております。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	2,116,357	1,570,452
売掛金	292,320	261,352
商品及び製品	58,233	63,251
原材料及び貯蔵品	23,145	26,604
未収入金	52,687	74,135
その他	45,419	53,589
貸倒引当金	△4,570	△5,459
流動資産合計	2,583,592	2,043,927
<b>固定資産</b>		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	195,528	269,219
土地	149,366	149,366
その他(純額)	34,627	44,855
有形固定資産合計	379,521	463,441
無形固定資産		
	58,483	49,182
投資その他の資産		
差入保証金	300,679	310,665
その他	126,868	136,269
貸倒引当金	△22,212	△19,408
投資その他の資産合計	405,335	427,525
固定資産合計	843,340	940,149
資産合計	3,426,932	2,984,077
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	221,914	192,937
短期借入金	1,612,006	989,846
1年内返済予定の長期借入金	45,000	123,731
賞与引当金	17,253	22,348
資産除去債務	7,301	-
その他	316,609	313,099
流動負債合計	2,220,084	1,641,961
固定負債		
長期借入金	356,501	200,000
資産除去債務	97,733	106,757
その他	342,529	299,087
固定負債合計	796,764	605,844
負債合計	3,016,848	2,247,806

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	699,573	1,053,573
利益剰余金	46,667	16,508
自己株式	△453,393	△453,393
株主資本合計	392,848	716,689
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	17,235	19,581
評価・換算差額等合計	17,235	19,581
純資産合計	410,083	736,270
負債純資産合計	3,426,932	2,984,077

(2) 中間損益計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	2,252,239	2,398,873
売上原価	895,741	928,032
売上総利益	1,356,498	1,470,841
販売費及び一般管理費	1,366,920	1,474,281
営業損失(△)	△10,422	△3,440
営業外収益		
受取利息	319	1,312
受取配当金	365	537
受取家賃	4,920	4,920
賃貸収入	2,590	2,416
その他	4,926	4,366
営業外収益合計	13,120	13,552
営業外費用		
支払利息	16,028	14,369
株式交付費	–	4,242
その他	428	157
営業外費用合計	16,457	18,770
経常損失(△)	△13,759	△8,658
特別利益		
固定資産売却益	3,381	3,108
資産除去債務戻入益	696	698
特別利益合計	4,078	3,807
特別損失		
固定資産除却損	30	233
賃貸借契約解約損	1,760	–
特別損失合計	1,790	233
税引前中間純損失(△)	△11,471	△5,084
法人税等	4,274	1,874
中間純損失(△)	△15,745	△6,958

(3) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年6月16日を払込期日とする第三者割当による新株式発行に伴い、発行済株式数(普通株式)が2,000,000株増加し、資本金及び資本準備金はそれぞれ177,000千円増加しております。

また、当社は、2025年6月22日開催の株主総会にて、減資を行うことを決議し、2025年7月31日付で第三者割当により増加した資本金及び資本準備金の額を減少し、全額をその他資本剰余金に振り替えております。その結果、当中間会計期間末において、資本金100,000千円及び資本剰余金1,053,573千円となっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. 换算情報

〔参考〕業態別出退店の状況

		前事業年度				当中間会計期間					
		自 2024年4月1日				自 2025年4月1日					
		至 2025年3月31日				至 2025年9月30日					
		期首 店舗数	出店数	退店数	期末店舗数	期首 店舗数	出店数	退店数	期末店舗数		
直営店	醉虎伝	4	-	1	3	△1	3	-	3	-	
	八剣伝	36	5	-	41	5	41	2	43	2	
	居心伝	1	-	-	1	-	1	-	1	-	
	串まん	1	-	-	1	-	1	-	1	-	
	八右衛門	2	-	-	2	-	2	-	1	△1	
	焼そばセンター	2	1	-	3	1	3	-	3	-	
	マルケン	21	-	1	20	△1	20	1	-	21	1
	その他	6	3	4	5	△1	5	2	-	7	2
小計		73	9	6	76	3	76	5	1	80	4
FC加盟店	醉虎伝	9	-	-	9	-	9	-	-	9	-
	八剣伝	183	1	14	170	△13	170	2	8	164	△6
	居心伝	7	-	-	7	-	7	-	1	6	△1
	その他	17	1	5	13	△4	13	1	3	11	△2
	小計	216	2	19	199	△17	199	3	12	190	△9
合計		289	11	25	275	△14	275	8	13	270	△5